

ひゅーまん ネットわーく

地域生活

2019年1月発行／第76号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



フレンドリーアクション 杉の子杯(サッカー)

私たちのコアバリュー(中核的な価値)を 改めて考える



社会福祉法人 北摂杉の子会

理事長 松^{まつ}上^{がみ}利^{とし}男^お

新年明けまして、おめでとうございます。平素より私ども法人・事業所運営に対しましてご理解と多大なご支援を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

さて、皆様もご存じのように昨年もメディアを通して、障害者福祉事業所における虐待事案が多く報道されました。元来、障害者福祉事業所は、障がいのある人たちの人権を守り社会参加を進め、QOL（生活の質）向上を目指すという社会的使命があります。

その障害者福祉事業所の中で、権利の主体者であるご利用者の人権を侵害する職員による虐待はあってはならないことです。

昨年2月に北摂杉の子会創設20年を迎えることが出来ましたが、新年を迎え、またこの節目の時に、改めて私ども法人のコアバリューについて確認し、共通理解を深めたいと思います。

私ども法人の理念は「地域に生きる」ですが、職員の利用者支援のコアバリューとして、「統合化」「個別化」「専門性」「地域」「連携」「人権」を掲げています。そして、「人権」が他の5つのコアバリューの柱を支えている土台であると考えています。土台の「人権」が崩れると柱が傾き、柱が支えている屋根（北摂杉の子会というブランド）が一瞬にして傾くこととなります。

私ども法人が開設した初めての事業所は生活施設「萩の杜」ですが、開設時からご利用者に対する人権擁護の支援を大切にしてきました。

そして、その支援目標の一つとして、「臭いのしない、綺麗な住環境を提供する」ことを掲げました。具体的には、「毎日の入浴の提供」、「掃除は1日1回ではなく、汚れたら掃除をする」ことを基本業務としました。ですから例えば、「トイレが汚れたら、臭いがしたら、掃除をする」ことを徹底しました。「臭いのする、汚れた、整理整頓していない環境」が日常化すると、「障がいのある人たちは、このような環境で暮らすことが当たり前だ」との意識が職員たちの中に浸透し、その結果、職員のご利用者に対する不適切な対応や人権侵害の誘発に繋がると考えました。

私が和歌山市への出張から帰阪するある日の夕方、職員から電話が入りました。「松上さん、浴室の給湯器が故障して、入浴ができません。利用者さんと美人の湯（施設近くの日帰り温泉）に行きます。よろしいですか?」との電話でした。もちろん私は、「ありがとう。お願いするね」と返事をしたのですが、その素晴らしい職員たちの支援に感激しました。私たちが掲げたコアバリューが具体的な利用者支援に確実に浸透していることを実感しました。

その後、私ども法人は、障がいのある人たちの地域での暮らしを支えるグループホーム開設の取り組みを進めていますが、そのグループホームでの利用者支援の中にも「萩の杜」の実践が引き継がれています。

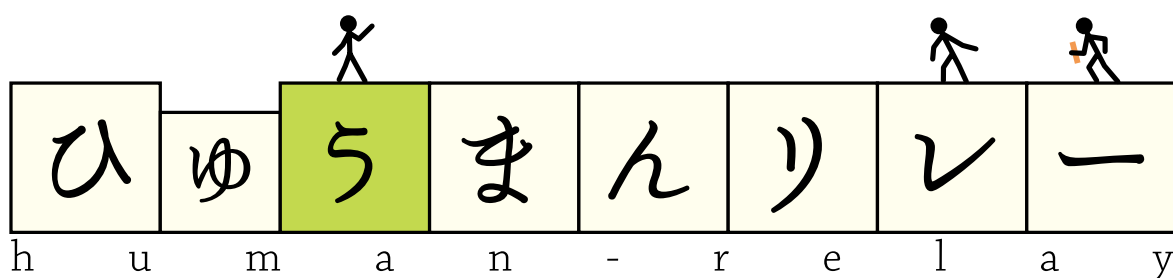
グループホームでは毎日入浴の提供をしていますが、ご利用者が一人ひとり入浴するたびに浴槽を洗い、お湯を入れ替えています。「グループホームで共に暮らしていても他人同士ですから、新しいお湯の浴槽に私たちも入りたいでしょう」との職員の思いからその支援が始まりました。

私どもは、「ご利用者のQOLの向上の取り組みが、権利擁護に繋がる」と考えています。新年にあたり、今回皆様にお伝えした具体的なQOL向上の取り組みが更に法人組織の中に根付き、広がるために、その取り組みを職員とともに積み上げて参りたいと思っています。

結びになりますが、皆様の今年1年のご健康とご活躍をご祈念いたしますとともに、昨年同様私ども法人運営に対しましてのご理解とご尽力を賜りますように、お願い申し上げます。

北摂杉の子会における利用者支援のコアバリュー

【統合化】	利用者の障がい状況に関係なく、利用者に対する支援を 地域社会との繋がり の中で行うことを基本とします。
【個別化】	利用者のそれぞれのニーズに基づいた 個別的な支援 を推進します。
【専門性】	利用者の様々な障がいや心理的社会的問題、ニーズを理解し、利用者自身がその問題を解決し、そのニーズを実現する為の 専門的な支援技術の向上 に努力します。
【地域】	地域に暮らす知的な障がいのある人やその家族に対して、施設の機能、専門性を活用し、 積極的な支援 を行います。
【連携】	利用者本人を中心として、家族や関係機関、地域住民との連携を大切に、トータルケアを推進します。 また、支援を行う上で、 職員間の連携 を大切にします。
【人権】	利用者の 人権を中心に据えた支援 を行います。 利用者の 個性、年齢に応じた支援 を推進します。 また、社会に対する 啓発運動 を積極的に行います。



「菜の花会 ハート&ハート宣言!!」

社会福祉法人 菜の花会 しもふさ学園 施設長 ふじさき すずむ 藤崎 進さんより

「自閉症の方々がしっかり理解され、豊かに暮らす、『自閉症の方にとってバリアフリー』な施設を目指したい」。自分が18年前に仕事を始めた際に、当時の施設長（現理事長）から言われた言葉です。千葉県成田市の郊外にある田園風景がひろがる片田舎で、社会福祉法人菜の花会は、主に自閉症の方々が入所されている障害者支援施設しもふさ学園から歩みはじめ、現在では、しもふさ学園に加え、日中活動を支える通所施設を3事業所、グループホームを9軒、児童ディサービス2事業所等を運営する法人となり、地域福祉の一端を担っています。



看板

今年度、法人は30周年を迎えました。30周年のお祝いとして、祝賀会や記念事業を行うのではなく、一つの宣言を行いました。それは「ハート&ハート宣言」です。これまでも、

利用者さんの支援をしっかりと行うために、個別支援を支援の基本としながら、支援の専門性を深めるため、科学的に行動をとらせ、どうしたら暮らしやすく、働きやすく、しっかりとコミュニケーション能力を発揮していただけるのかを考え、支援に取り組んできました。自分が仕事を始めたころと比べると、居室の個室化がすすみ、個別の作業スペースが増え、スケジュールやワークシステムの活用等により、利用者さんの生活の質は向上し、落ち着いて過ごすことができています。今回のハート&ハート宣言は、これまでの取り組みをさらに深化させ、『障害者』と『サービスする人』の関係が、より“こころ”を通わせる関係となるように、あたたかい関係づくりを目指しています。

入所施設やグループホームの生活の中で、利用者さんと職員の間には、処遇や観察という言葉で取り扱われる『患者さん』としての関係になりがちです。利用者さんの支援を考えると、行動を分析し、いつ・どのような場面で・行動した後どのように過ごしたのか、その行動にどのような機能があったのか。支援者として、まずそのようなことが頭に浮かびます。確かに理論的・科学的に分析し、理解することも大切。しかし、もしそれが

自分にとって大切な人であるならば、そう頭で分析を始める前に、ここで受け止め、様々な感情を持ち、辛いことなら何とかしてあげたい、言葉にはならない声を何とか聴いてあげたい、楽しいことを一緒に共有したいと、「考える」前に「感じる」のではないのでしょうか。利用者さんのところと職員のところが通い合う関係の中で、支援を組み立てていくことを「ハート&ハート宣言」として取り組んでいます。

このハート&ハート宣言を実現するために、昨年度から委員会を立ち上げ、毎月議論を重ねています。様々な場面で利用者さんを支援するにあたり、菜の花会の中で「ハート&ハート」としてこの通じ合う支援と、そうあるべきではない「ハートブレイク」な支援とを議論していますが、その内容は、食事、身だしなみ、おしゃれ、トイレでの場面、混乱されている場合、予定を伝える場合等様々な場面があり多岐にわたっています。個別支援計画書の作成についての話し合いがもたれた際には、白熱の議論となりました。「個別支援計画書は、利用者さんへの支援者の想いが溢れるものにならなくてはならない。利用者さんとともに作成しながら目標を決め、最終的には、『利用者さんに贈るラブレター』として作成しよう」。この気持ちで、全員の個別支援計画書が作成されたとき、ハート&ハート宣言が、宣言にとどまらず利用者さ



作業構造化

んへの支援として届けることができるのではないかと考えています。

この30年間で社会は大きく変化しました。昭和が終わり、平成となり、今年には新たな元号となります。ライフスタイルや情報伝達のスピード、人と人との繋がり方、もちろん福祉を取り巻く様々な環境も大きく変化しました。菜の花会も、入所施設から始まり、通所施設、そしてグループホーム、児童デイ、相談支援事業と地域のニーズの要請に合わせてその事業規模を拡大してきました。しかし、いくら時代が変わろうと、菜の花会が大きくなろうと、親御さんがお子さんを想う気持ちや大切な人を想う気持ちに変わりはありません。一人ひとりにドラマがあり、おおげさに言えば幸せを追求しています。菜の花会は、その幸せを共にここで感じ、追い求めていきたいと思います。「ハート&ハート宣言」が、利用者さんへの大きな贈り物になりますように。



利用者さん

～地域連携を考えて～



高槻事業所連絡会
グループホーム部会での連携

けあほーむ はばたき まつかわI

サービス管理責任者 倉 橋 慎 輔 さんより

初めに、当法人のご紹介をさせていただきます。
医療法人光愛会は精神科病院である光愛病院をはじめ、精神科クリニック、訪問看護ステーション、地域活動支援センター・相談支援事業所、ケアプランセンター、グループホームといった医療から福祉に至るまでのサービスを、高槻市を中心に大阪府下で展開しています。

その背景には光愛病院が1964年に創設して以来、開放医療と地域社会との連携を進めてきたこと、そして「鳥は空に、魚は水に、そして人は社会に」という現在の法人理念があります。

私が勤務をしております「けあほーむ はばたき まつかわI」は1998年に開設し、名称や場所を変えながらも、高槻市内でグループホームとして利用者の皆様の地域生活の支援を続けています。当事業所の定員は27名で、主に精神障がいや発達障がい、軽度の知的障がい、高次脳機能障がい等の当事者の方々にご利用いただいております。そのなかで私はサービス管理責任者として、個別支援計画の作成を中心に直接支援から他機関との連携、運営に関する業務等に携わらせていただいております。

昨今、グループホームを取り巻く環境や制度は、大きくそして日々変動しています。「障害者総合支

援法」の改正、火災や自然災害に対する備え、介護福祉分野での人手不足による人材確保・育成の難しさ等、一法人・一事業所の知恵や取り組みだけでは対応できないことが多いと痛感しております。

そういったなかで、高槻事業所連絡会内のグループホーム部会において、北摂杉の子会の方々をはじめ、グループホームを運営する他法人の皆様と情報の共有や研修、行政へのアプローチ等で連携をさせていただいていることを、大変心強く感じております。

直接支援における連携に限らず、こういった事業所間での連携が、利用者の皆様の安心安全な環境づくりとサービスの質の向上を繋がっていると感じております。

また今後の事業所間での連携という面では、お互いのグループホームを見学したり、職員同士が交流できたりする機会を積極的に増やしていきたいと考えております。

このような取り組みを通じ、利用者の皆様の「リカバリー」の支援、つまり地域でそれぞれの生きづらさを抱えながらも、その人らしく生き活きと生活していくことができるようになる過程を「共に」歩める支援が出来るのではないかと考えています。

自閉スペクトラム障害の方への 訪問支援が持つ可能性



株式会社ハーティケア 訪問看護ステーションこころ

副所長 作業療法士 やまぐち ゆかり 山口 由香里 さんより

当訪問看護ステーションこころは、2014年に摂津で開所致しました。病院内での医療から次の広がりへ、より個々の生活に寄り添った支援をしたい、と看護師と作業療法士が立ち上げた独立型の訪問看護事業所です。開所後豊中、高槻に支所を設け2018年12月現在、看護師6名と作業療法士8名で、主に精神障害を持つ方の地域での生活をケア、サポートしています。

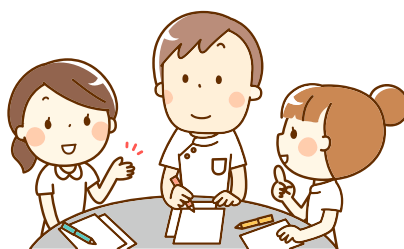
訪問看護という支援方法の持つ可能性は、生活者としての個々の状況を直接見て理解し、まさに生活の場に出向いて個別性を持った支援を展開できることにあります。自宅から地域へ出ていくのが困難な状況にある方にも有用な形と言えます。

北摂杉の子会でも、自閉スペクトラム障害のある方への訪問支援を、地域における包括的支援体制に取り入れることが有用という考えがあるとのこと。特に、障害特性を理解し心身両面に活動を用いて働きかける医療専門職である作業療法士が看護師との協力体制で行う訪問看護は、学童期前の早期個別療育から高齢化する在宅障害者への支援まで、広く活用できる形と考えられます。「訪問看護ステーションこころ」ではこの1年半、北摂杉の子会と提携し自閉スペクトラム障害のある方への訪問支援の実践の基盤づくりに協力して取り組んできました。生活の場で今起こっている課題を解決するような視覚化や構造化、将来の生活を見通して活動の幅を広げる取り組みを支援者がじっく

り寄り添ってすること、二次的精神症状への対処法を増やすこと、自己肯定感を高めるような成功体験の積み上げ、家族からの相談にこまめに対応すること、こういった実践を通してご利用者の生活の変化を支援者として経験できたことはとても貴重なものでした。

近年、精神医療の中でも自閉スペクトラム障害のある方の支援をする機会がとて増えています。私たちがこれまで培ってきた精神障害者への支援技術に加えて、特有の障害特性を踏まえた専門的な支援技術が必要だと感じますし、この協力関係の中で杉の子会の方から多くの事を学ばせていただきました。

自閉スペクトラム障害のある方への専門的な訪問支援はまだまだ実践している所が少ないのが現状です。しかし、杉の子会と提携して取り組んだ経験から、この方法は医療と福祉をつなげる包括的支援として、障害者の日常生活と社会生活を充実させていくものだと確信しています。今後も杉の子会と協力関係を持たせていただき、この実践をより良いものに成長させていきたいと願っています。



PEP-3(自閉症児発達障害児教育診断検査)について、 換算表作成による業務時間の短縮への取り組み



児童発達支援部
支援員・事務職員・保育士
にし の よう こ
西野 陽子

児童発達支援部
主任・介護福祉士・保育士
にしがみね さ と こ
西ヶ峯 佐登子

1. はじめに

児童発達支援部では、児童デイサービスセンターan、こども発達支援センターaz（大阪市）、こども発達支援センターwill（高槻市、茨木市、摂津市、島本町）、自閉症療育センターLink（枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市）の4か所で、それぞれ市の委託を受けて、年少から小学校3年生までの幼児期・学齢期の方の個別療育を行っています。

2. 児童発達支援部の課題

①個別療育を実施するための評価時期における課題

個別療育では、療育の中で、ひとりひとりの得意なことや苦手なこと、強みや弱み、分かりやすい環境設定、分かりやすい学習スタイル、行動面の特徴について、標準化されたフォーマルな発達検査『PEP-3（自閉症児発達障害児教育診断検査）』を用いて丁寧に評価を行っています。

また、市町村の委託契約による実施のため、ご利用者が1年毎に入れ替わることや療育の回数が定められていることから、1年間の予定の中に発達検査を盛り込もうとすると、多いときには5～6名の評価を1日で実施する必要が出てきました。

何とか対策を講じることで乗り切ってきましたが、4月は事業所の人員体制も変化し、新規職員の入職もある中で、新規職員に検査の実施や事後処理の手続きを伝えながら、検査を実施することが時

間的にも厳しい状況が続いており、①**保護者向けの検査報告書を作成するのに時間がかかる** ②**新しい職員に発達検査について十分伝達できない** ③**残業が発生する**などの課題が発生していました。

②事務職員のスキルの活用における課題

現在、児童発達支援部では、事務職員として3名が業務に従事しております。事務職員は、パソコンの仕組みやパソコンソフトの活用にも詳しく、得意分野でありながらも公開講座や療育アンケートの入力、勤務実績表の作成など限られており、平素は十分にこの技術を活用できておらず④**事務職員のスキルが活用できていない**ことも課題でした。

3. 課題についての解決への取り組み

上記4つの課題があることを踏まえて、PEP-3の発達検査後の事務処理を工夫することにしました。

方法としては、PEP-3の発達検査後の事務処理を紙ベースからエクセルのデータベースに変更。今まで手書きで行っていたデータのまとめに関して、各職員がエクセル上にデータの入力を行うと、まとめが全て完了するようになりました。作業時間としては、平均で30分程度かかっていましたが、新しい方法だと、平均10分程度で完了し、間違いもなく新入職の職員でもすぐに作業できるため、役割分担がしやすく、作業にかかる時間が大幅に減少しました。

バレンタイン商戦に向けた計画的な取り組み ～高工賃の実現に向けて～

LaLa-chocolat TAKATSUKI

管理者・介護福祉士 ^き木 ^ど戸 ^{たか}貴 ^{ゆき}之

1. 開設の経緯と今までの課題

平成27年10月21日、阪急高槻市駅から徒歩1分という繁華街の中に、チョコレートと焼き菓子の専門店「LaLa-chocolat TAKATSUKI」がオープンいたしました。

オープン以降、おかげさまで多くのお客様に足を運んでいただき、クリスマスやバレンタインデー、ホワイトデーを迎える冬の繁忙期には、製造計画やラッピング計画を立てても、それを売上げが上回り、なかなか段取り良く業務が進まない状況にありました。

特にチョコレート店の一大イベントでもあるバレンタイン商戦では、西武高槻店でのバレンタイン催事販売も毎年行っており、店舗も含めバレンタインギフト商品が無くなってしまわないよう、膨大な量の商品製造をしています。その中で、商品数の不均衡が生じてしまうなどの課題も発生していました。

また製造しても、どんどん売れていく状況のため、ご利用者の活動時間だけの製造では追いつかず、職員が残業をして商品製造を行なうことなども続いていました。

お客様にご来店いただいた際に、目当ての商品が品薄などの状況になっているとお客様も離れてしまいます。また繁忙期の売上げが、ご利用者の工賃向上にも直結するため、冬期の売上げ向上に向けた取り組みをより検討していく必要がありました。

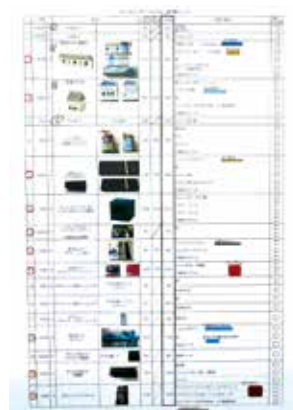


タペストリー

その他の課題として、商品を保管する場所の確保が難しく、LaLa-chocolat TAKATSUKIの出張所である法人本部4階に商品があふれてしまうこともありました。

2. 課題解決に向けた取り組み

店舗オープンから3回目となる平成29年度のバレンタイン商戦に向けて、年間のイベントスケジュールをより詳細に作成し、8月頃よりバレンタイン商戦に向けた検討を始めました。



ギフト資材一覧表

ギフト商品のアイテム数とその金額を決め、各ギフトアイテムに詰める商品の検討、ラッピングに必要な資材等の購入リストの作成、商品製造数を把握するための「商品製造プランニング表」の作成、チョコレート商品の冷凍計画および、バレンタイン時期に入った際の解凍計画など、多岐にわたる計画を作成しました。その結果、膨大な量の商品製造やラッピング進捗状況、西武高槻店への催事用商品と店舗用商品等について、誰が見てもすぐに把握できるようになり、今年度のバレンタインではスムーズな製造、ラッピング等に繋がることが出来ました。

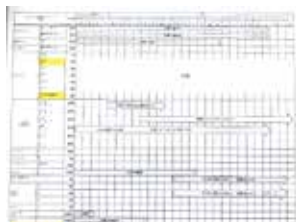
商品を保管する場所の確保についても、平成29年度より法人本部402会議室を、12月～2月中旬まで、商品・資材置き場として借りることで、ギフトラッピングをする場所がしっかりと確保でき、LaLa-chocolat TAKATSUKI出張所で働くご利用者に、箱折や商品詰めなどの周辺作業をしていただける機会を、前年度より増やすことが出来ました。



商品ストック解凍確認表



製造確認表



商品製造プランニング表

また、ご利用者に少しでも商品製造をしていただいたとの思いから、厨房業務について、残業が出来るご利用者には17:30頃まで残業していただくことで、ご利用者もスタッフもチーム一丸となって、バレンタイン時期を乗り切ることが出来ました。



賞味期限チェック一覧

その他の取り組みとして、繁忙期を迎えるまでに、少しでも多くのお客様にLaLa-chocolatを知っていたこうと、9月にタペストリーを設置、10月の店舗開店2周年記念を前にホームページを作成。これらを通して、LaLa-chocolatに興味を持っていただいたお客様から「ホームページを見て、来ました」というお声もいただき、ホームページからネット注文をしていたお客様も徐々に増えてきています。

3. 課題解決を実践した結果

このように売上げ向上に向け、地道に取り組んでいった結果、平成30年2月のバレンタインデーでは、昨年1日の売上げ最高額を前日と当日の2日連続で更新することが出来ました。

2017年2月13日	333,855円
2018年2月13日	378,296円
2018年2月14日	382,738円

また、店舗の1ヵ月間の売上げも、1月・2月と2ヵ月連続で前年度の売上げ金額より向上させることも出来ました。

売上げ	1月	2月
2017年	¥1,159,313	¥3,039,266
2018年	¥1,310,452	¥3,180,688
差額	+¥151,139	+¥141,422

平成28年度は偵察を兼ねてご来店されるお客様が多かったため、1月の客数は良かったのですが、平成29年度は、最初からLaLa-chocolatでのご購入を決めてご来店いただくお客様も多く、特に2月6日～14日までの売上げと客数が一気に増えました。

西武高槻店での催事販売でも、昨年度より多くのお客様にご来店いただき、ホームページやタペストリーの効果もあり、「この前、お店のホームページ見ました」、「あの美味しそうなタペストリーがかかっているお店ですよね!」などと声をかけていただくお客様も増え、それが直接の売上げ向上にもつながったと思われます。



バレンタイン販売目標

4. まとめ

LaLa-chocolat TAKATSUKIには、就労継続支援B型事業所としての一面と、高槻市のチョコレート専門店として、地域のお客様から愛される店舗という、2つの側面があります。

ご利用者、販売員、パティシエ、支援員が一つのチームとしてまとめ、それぞれの役割の中で最大限努力した結果として、売上げ向上に繋がったと感じています。繁忙期には、職員の残業時間がどうしても多くなってしまうなど、まだまだ解決すべき課題もありますが、これからも地域の皆様に愛される店舗として、そしてそこで働くご利用者や職員が誇りを持って働けることができる事業所として、今年度のバレンタインも乗り切っていきたいと思えます。

これからも皆さまのご愛顧を、よろしくお願いいたします。

LaLa-chocolat HP <http://lala-chocolat.net>

西武高槻店でのバレンタインイベント

「バレンタインチョコレートパラダイス」

期間：1月30日(水)～2月14日(木) 10:00～20:00
(最終日のみ18:00終了)

会場：西武高槻店4階催事場

第5回 北摂杉の子会研修セミナー 報告

平成30年10月6日に大阪市立住まい情報センター3階ホールにて、第5回 北摂杉の子会研修セミナーを開催いたしました。今回のテーマは「自閉症児者の生活の質を保証するQuality of Life for Individual with ASD」です。

講師として、アメリカ/ノースカロライナ州にありますアルバマーレから※GHA Autism SupportsのCEOであるドーン・アレン氏と、支援部門のトップであるジャネット・バンクスさん氏をお招きしました。(詳細は以下の略歴参照)

前々日に当法人のレジデンスなさはら・ジョブジョイント おおさか たかつきランチ・LaLa-Chocolat/TAKATSUKI・ぶれいすBeを見学していただきました。当法人の支援現場を実際に見ていただき、様々なアドバイスをダイレクトに頂戴することができ、各事業所の職員にとって、とても有意義な時間であり、大いに刺激を受けたようです。

当日上記のテーマで講演がスタート。ご参加いただいたのは、近畿圏からはもちろんのこと、全国各地の事業所・教育機関・保護者の方々及び当法人の職員、約200人です。ドーン氏からは、法人経営の側面からGHAにおける自閉症児者支援の基本理念と事業の内容についてお話いただき、ジャネット氏からは、GHAがどのようにしてQuality of Life (生活の質)を促進しているのを中心にお話いただきました。

当法人でも課題としています重度高齢化や人材育成に関するお話など、参考にしていきたい内容が多く、とても有益なお話ばかりでした。

まとめとしてドーン氏から、GHAと当法人はご利用者の人権を尊重するという根幹をなす部分は同じだと感じた、今後も人材交流も含め、様々な形で連携を深めていきたいというお言葉を頂戴しました。

今回ははるばる日本にお越しいただいたドーン氏とジャネット氏、通訳としてお越しいただいた山口県立大学 水藤昌彦教授に厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、ご参加いただいた多くの方々にも、お礼申し上げます。

来年度以降もこの研修セミナーを継続して開催したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



講演会の様子



ドーン・アレン氏

GHA 最高経営責任者
大学にて心理学を、
大学院にて教育学を
修める。1981年に
GHAに直接支援職員
として従事。受賞歴
多数。



ジャネット・バンクス氏

GHA チーフインベ
ンションズオフィサー。
大学・大学院にて心理
学を修める。1991年
よりGHAに心理士と
して従事。TEACCH
プログラムのセラピス
トを兼任している。

GHAは、1978年からノースカロライナ州で、自閉症の子どもの「暮らしの場」としてグループホームを運営。どれだけ重度の行動問題があろうとも、州立大規模施設で対応困難でいわれようとも、児童から老年期の全てのライフステージを包括して、デイプログラム・GH・就労支援を、アルバマーレとウィルミントンというノースカロライナ州南部で展開。事業開発当初から、TEACCHと連携をとり、自閉症の人の学習スタイルにマッチした支援を行っている。



LaLa-chocolat見学



ぶれいすBe見学



レジデンスなさはら見学



杉の子 いいね!

🍵 レッツ 🍵
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

新グループホーム「レジデンスなさはら2丁目」の壁紙



K・Yさん



●スタッフのコメント

各ご利用者がそれぞれの視点で壁紙と床のデザインを選ばれており、バラエティに富んだ居室はまさにアートです!



Y・Nさん

ララショコラ Iさんの作品



●スタッフのコメント

こちらの作品は、絵を描くことが得意な石田さんの作品です。
大好きなちびまる子ちゃんやサザエさんのマンガは何も見ずに、サラサラとペンを走らせ、一瞬で描きあげることができます! また、手先がとても器用で、折り紙で1cm大の「鶴」を折ることもできます!
細かい指先の器用さを活かし、ララショコラの厨房で製造のお仕事に励んでおられ、大活躍です!!



北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成30年9月～11月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	すぎの子はったつ通信 9～11月号
	自閉症療育センター Link 事業説明会のご案内
	こども発達支援センター will 事業説明会のご案内
	サポートセンターPASSO 新規療育児募集説明会のご案内
お知らせ	[後期] 強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修 開催
	月刊「さぼーと」11月号に、当法人理事長 松上利男が執筆
よどのコロッケ	よどのコロッケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	CafeBe ミュージック・ディ情報更新



掲示板コーナー

(平成30年9月から平成30年11月まで)

法人本部総務部 掲示板

9月	行 事
3日	第118回理事会 法人本部会議室 第1号議案 (仮称)レジデンスなさはらもとまち 1番館、2番館の新築工事請負契 約に関する件 第2号議案 独立行政法人福祉医療機構からの 借入金額変更の件
10・25日	経営会議
14・28日	運営会議
21日	医療連携推進室会議
27日	甲南大学ボランティア説明会
28日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
10月	行 事
6日	第3回法人全体研修／第5回北摂杉の子会研修 セミナー 「自閉症児者の生活の質を保証するQuality of Life for Individual with ASD」 GHA 最高経営責任者 ドーン・アレン氏 GHA チーフイノベーションズオフィサー ジャネット・バンクス氏 通訳 山口県立大学 社会福祉学部 教授 水藤昌彦氏
9・24・ 29日	経営会議

10月	行 事
19日	医療連携推進室会議
24日	新入職員研修
26日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修 運営会議 権利擁護虐待防止委員会
11月	行 事
6日	関西福祉科学大学内インターン説明会
9・30日	運営会議
12・22日	経営会議
13日	第119回理事会 高槻現代劇場集会室403号室 第1号議案 豊中市児童発達支援事業等業務 受託の件 第2号議案 平成30年度補正予算案の件 第3号議案 事業計画進捗状況の件
16日	医療連携推進室会議 関西学院大学人間福祉学部松岡ゼミ内インターン説明会
22日	新入職員研修
29日	ノートルダム女子大学内説明会
30日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

(河辺 記)

ノートルダム女子大学内説明会



避難訓練



寒い中でしたが、みなさん協力しながら避難してくれました。



支援実践報告会



法人SV(スーパーバイザー)の中山清司さんをお迎えして、今年度の萩の杜での支援の実践報告を行ないました。

日帰り旅行



スプリングスひよしでバーベキューを行ないました。



新幹線に乗って、名古屋に行ってきました。

(竹内 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

10月30日 秋の事業所連絡会バザー



秋の事業所連絡会バザーに参加しました。沢山の事業所から参加されていました。

10月31日 ハロウィーン



ハロウィーンの日、みんなで仮装して作業に取り組んでいただきました。

10月11日 不審者研修



10月11日、高槻警察署の方に来て頂き、施設内に不審者が侵入して来た時の対処方法など、実際の演習を交え、講義して頂きました。



11月19日 たかつきアート博覧会 2018



沢山の方に手作りアクセサリーを作って頂きました。

(森田 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

9月	行	事
5日	平成30年度 第1回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会	こどもワーキング
6日	大阪府ペアレント・メンター事業：豊能町訪問（打ち合わせ）	
7日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市訪問（全体会ワーク） 地域支援マネージャー事業：高槻市訪問（研修会打ち合わせ）	
14日	地域支援マネージャー事業：豊中市訪問（研修会打ち合わせ） 地域支援マネージャー事業：太子町訪問（打ち合わせ）	
18日	地域支援マネージャー事業：能勢町訪問（児童クラブ指導員対象研修会） 大阪府ペアレント・メンター事業：能勢町訪問（打ち合わせ）	
19日	地域支援マネージャー事業：和泉市訪問（打ち合わせ）	
20日	地域支援マネージャー事業：東大阪市訪問（研修会打ち合わせ）	
22日	アクトおおさかグループミーティング第3回目開催（相談者対象） 「みんなのリラックス方法を知り、好不調の波を乗りこなしましょう！」	
26日	地域支援マネージャー事業：八尾市訪問（研修会打ち合わせ）	
27日	地域支援マネージャー事業：能勢町訪問（福祉事業所対象研修会）	

10月	行	事
1日	地域支援マネージャー事業：太子町訪問（打ち合わせ）	
4日	発達障がい者の地域支援を考える会 ルーキーのための3回連続講座 第2回	
9日	大阪府ペアレント・メンター事業：泉州南障害者就業・生活支援センター（打ち合わせ）	
11日	大阪府ペアレント・メンター事業：光風台小学校訪問（保護者・支援者対象） 大阪府ペアレント・メンター事業：寝屋川市訪問（打ち合わせ）	
12日	公開講座：自閉症児支援センターWave訪問（打ち合わせ） 平成30年度 第2回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会	
16日	地域支援マネージャー事業・大阪府ペアレント・メンター事業：能勢町訪問（保護者対象）	
17～19日	平成30年度発達障害者地域支援マネージャー研修会（応用研修）参加 （国立障害者リハビリテーションセンター）	
20～21日	平成30年度発達障害者地域支援推進事業実地研修 『ひきこもりや家庭内暴力等に対する家族支援①』参加	
22～23日	全日本自閉症支援者協会三重大会 参加	
23日	平成30年度 第1回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会	成人ワーキング
25日	地域支援マネージャー事業：能勢町訪問（研修会打ち合わせ） 地域支援マネージャー事業：東大阪市訪問（支援者向け研修会）	
26日	大阪府内発達障害者支援センター3センター会議 参加 地域支援マネージャー事業：岸和田市訪問（上級編研修会） 地域支援マネージャー事業：八尾市訪問（研修会打ち合わせ）	
27日	アクトおおさかグループミーティング第4回目開催（相談者対象） 「みんなのリラックス方法を知り、好不調の波を乗りこなしましょう！」	
29日	地域支援マネージャー事業・大阪府ペアレント・メンター事業：羽曳野市訪問（支援者対象） 発達障がい児者サポートプロジェクト（泉州・南河内版）	
30日	第2回意見交換会（岸和田市立総合福祉センター） 地域支援マネージャー事業：高槻市訪問（支援者対象研修会）	
31日	大阪府ペアレント・メンター事業：豊中市訪問（保護者対象） 大阪府ペアレント・メンター事業：メンターフォローアップ研修	

11月	行 事
2日	地域支援マネージャー事業：和泉市訪問（就労支援部会と打ち合わせ） 地域支援マネージャー事業：岸和田市訪問（初級編研修会打ち合わせ）
6日	大阪府ペアレント・メンター事業：泉州南障害者就業・生活支援センター（支援者対象）
7日	地域支援マネージャー事業：太子町訪問 （専門職会議オブザーバー参加・打ち合わせ）
8日	地域支援マネージャー事業：東大阪市訪問（研修会打ち合わせ） 大阪府ペアレント・メンター活動：吉川小学校訪問（保護者・支援者対象）
11日	NPO法人DDAC 第3回ピアリーダー研修会 講師
14日	大阪府ペアレント・メンター事業：池田市やまばと学園訪問（打ち合わせ）
16日	平成30年度 第2回大阪府発達障害団体ネットワーク会議 参加 大阪府ペアレント・メンター事業：東能勢小学校訪問（保護者・支援者対象）
17日	日本ペアレント・メンター研究会 公開講座協力 関係機関交流会 参加
19日	ハローワーク職業相談部門若年者担当職員向け研修 講師
20日	国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター発達障害 支援推進官との意見交換会（アクトおおさか）
21日	地域支援マネージャー事業：東大阪市訪問 （発達障害支援推進官の視察 支援者向け基礎講座 グループワーク）
22日	大阪府ペアレント・メンター事業：茨木市教育センター（支援者対象） 茨木市教育センター所内研修会 講師
29日	大阪府ペアレント・メンター事業：四條畷市訪問（市民対象） 大阪府ペアレント・メンター事業：寝屋川市訪問（保護者対象）

（坂本 記）

大阪府ペアレント・メンター事業 【フォローアップ研修】



グループミーティング 【バトミントン!】



児童発達支援部

a n



スタッフと課題



スタッフと遊び



マグフォーマーで車と駐車場を表現



ラキューでサバンナの動物を表現

a z



ひとりでべんきょう



先生と勉強～せんせいとすごろくゲーム～



Link



おやつ 食べたいおやつを先生に要求



課題 手順を見ながらパフェを作る



スケジュール
めくり式のスケジュールで
予定を確認



運動エリア
トランポリンを飛びながら
ボールを転がして楽しむ



余暇活動 お砂遊び
お砂のケーキを
かわいくデコレーション

PASSO



外出 ボーリング



マナー講座 ひげそり



電車の顔の絵 (1)



電車の顔の絵 (2)



療育 作業



淀川区 親子であそぼう
ひとくちパイづくり

will



1人で勉強場面



お友達同士でスイーツバイキングゲーム



折り紙でクリスマスリース作り

(西ヶ峯 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

～日帰りレクリエーションでお出かけしました～

「六甲山牧場」



羊と戯れる



「鉄道博物館」



アイスクリームづくり体験



「ハーベストの丘」



ジェイブランチよど

～日帰りレクリエーションでお出かけしました～

「京都水族館」



「大阪周遊アクアライナー」



「イリュージョンミュージアム」



(桶谷、水口 記)

9 月



9月カフェコンサート



午前午後合わせて
約100名のお客様に
お越しいただきました



ぷれいすBeで利用者の
「和太鼓倶楽部」のメンバーも
演奏させていただきました



出演: Old和太鼓ドン様



びっくりドンキー



妙見の森



伊丹空港

10 月

ハロウィン





ザ・ファーム・ユニバーサル

ヨドバシカメラ梅田

11月



阪急鉄道イベント



梅田スカイビル



深北緑地



ひらかたパーク



エキスポシティ



(下 記)

ジョブジョイント(JJ)おおさか -たかつきランチ- 掲示板

9月	行	事
8日	AM:先輩のハナシ+実習報告会 PM:働くチカラPROJECT (大学生向けサービス)	
11日	事業所見学会(高槻)	
22日	ジョイふるJJ (就職者向けサービス) BBQ (バーベキュー)	
25日	事業所見学会(十三)	
29日	AM:土曜クラブ	
10月	行	事
9日	事業所見学会(高槻)	
16日	会社見学会	
20日	AM:土曜クラブ、ジョイふるJJ (就職者向けサービス) PM:働くチカラPROJECT (大学生向けサービス:就活のススメ)	
23日	事業所見学会(十三)	
11月	行	事
3日	PM:働くチカラPROJECT (大学生向けサービス:就活のハジメ)	
10日	AM:土曜クラブ 働くチカラPROJECT (大学生向けサービス:インターンシップ報告会) PM:ジョイふるJJ (就職者向けサービス) 働くチカラPROJECT (大学生向けサービス:就活のハジメ)	
13日	事業所見学会(高槻)	
17日	北摂杉の子会アート展 働くチカラPROJECT (大学生向けサービス:就活のハジメ)	
27日	事業所見学会(十三)	

(山田 記)

企業実習(株式会社iDE 寿司ダイニングアクア様)

いろいろな仕事の経験を積み、自分に合った仕事を確認していくために、企業実習に参加していただいています。

今回初めて行かせていただいた実習先です。お皿洗いや調理補助をしました。



先輩のハナシ+実習報告会

就職された先輩と企業実習を経験された方にご自身の経験を発表していただきました。
毎年好評のプログラムです!



ジョイふるJJ BBQ (バーベキュー)、海遊館

就職者向けのソーシャルクラブです。皆さん楽しそうに参加されていました。



北摂杉の子会アート展

11月17日に北摂杉の子会アート展を開催。昨年よりも多くの方にお越しいただきありがとうございます。
アート体験ではお子さんもたくさん参加してくださいました!



生産活動支援部 掲示板

ららしょころ

たかつき

LaLa-chocolat TAKATSUKI



10月17日(水)にカップヌードルミュージアムに行ってきました。



★ カップに絵を描いているところ。好きな絵を描き世界に一つだけのカップが完成。



世界のカップヌードルの前で撮影



★ 麺をカップに入れているところ。逆転の発想で生まれた技術。



(高木 記)

萩の杜家族会 掲示板

9月	行	事
11日	イオン	イエローレシートキャンペーンに参加
13日		「信託」についての学習会（高槻市生涯学習センター）
23日		カトリック高槻教会にて花販売
27日		サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）

10月	行	事
11日	イオン	イエローレシートキャンペーンに参加
12日		家族会定例会（高槻市現代劇場）
15日		給食試食会 安全対策委員会
18日		第2回茶話会
22日		家族会会長会議
28日		カトリック高槻教会にて花販売

11月	行	事
3日	三島の郷	郷まつり参加
11日	イオン	イエローレシートキャンペーンに参加
15日		家族会親睦会（高槻森林観光センター）
22日		サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
25日		カトリック高槻教会にて花販売

（池田 記）



大型と小型の座椅子



チューリップの花束

これらの作品は家族会のお母さんたちが「サークル萩」の集まりで作成した手作り品です。
阪急高槻市駅構内の「ふれあい高槻」にて販売しています。

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

9月	行	事
19日	第2回定例会（高槻現代劇場206号室） 出席者 38名 欠席者 14名 来賓 松上理事長 平野理事 森田施設長 ・法人より現状報告 松上理事長 ・地域生活支援部より報告 平野理事 ・ジョブサイトひむろより活動報告 森田施設長 ・家族会報告 東会長 ・高槻ふれあいバザーについて 高原実行委員長 ・定例会後臨時役員会 高槻ふれあいバザーについて	
22日	新規グループホーム地鎮祭 東会長出席	
25日	法人経営協議会 東会長出席	
10月	行	事
12日	高槻ふれあいバザー前日準備	
13日	高槻ふれあいバザー 高槻市地域福祉会館及び高槻市医師会看護専門学校駐車場 (役員 会員 森田施設長)	
11月	行	事
2日	家族会会長会 東会長出席	
7日	第3回役員会（本部会議室）	

(堀江 記)

ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

9月	行	事
4日	合同定例会（淀川区民センター） ※台風のため中止しました。	
15日	よどおやじの会（炉端焼き十三船番所） 法人出席：松上理事長、佐々木理事、田端施設長 ジョブサイトよど家族会（出席者：5名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：3名）	
22日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
10月	行	事
6日	第5回北摂杉の子会研修セミナー（大阪市立住まい情報センター） 「自閉症児者の生活の質を保障する」 講師 GHA Autism Supports CEO：Ms. Dawn Allen 支援部：Ms. Janet Banks 通訳 山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 水藤昌彦 氏（参加：永井）	
20日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
11月	行	事
2日	家族会会長会（高槻現代劇場 集会室201号室）（出席：玉木）	
6日	合同定例会（淀川区民センター） 「松上理事長と語ろう」 法人出席：松上理事長、田端施設長 ジョブサイトよど家族会（出席者：11名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：5名）	

(永井 記)

ぶれいすBe家族会 掲示板

9月	行 事
11日	「女性利用者のためのグループホームの会」見学ツアー（生活支援センターあんだんととの共催）。行き先：グループホームゆう。参加者8名（あんだんと職員2名も含む）
13日	役員会（ぶれいすBe会議室） 出席者：10名（施設長を含む） ・定例会の準備（「定例会開催のお知らせ」他書類・資料の確定・役割分担など） ・積立金の使途について ・ひやりはっと年次報告について ・機関誌「掲示板」原稿の確認

10月	行 事
5日	参観&ランチ（第二回）担当役員：田中・岸・厚東 参加者12名（11家族） 利用者の姉と赤ちゃんも参加し、にぎやかな見学会。大阪北部地震、酷暑、台風と今年は天変地異が続き、施設の臨時休所等いろいろなことがあったが、全体として大過なく過ごすことが出来たのでよかった
11日	役員会（ぶれいすBe会議室）出席者：10名（施設長を含む） ・議事録の様式変更→審議事項（家族会全体の活動に関わる）／情報・意見交換（家族会有志の活動に関わる）／ぶれいすBeより、という三つの柱を立てる ・参観&ランチ（第二回）の報告 ・「障がいのある方の親兄弟が学ぶお金の話しパート2」の案内状の確定と配布 ・定例会の準備（資料の決定・印刷・配布・役割分担等） ・「Beどうし」原稿 ・新しく作られた【情報・意見交換】のパートでは、親の気づいた「ひやりはっと」に該当する事項、職員の勤務体制の問題等が話題として取り上げられた
13日	定例会（カフェBe）10時より12時まで、参加者：33家族（34名） 報告と質疑応答 ・司会進行（岡田） 1. 会長報告（厚東） ・ぶれいすBe創立10周年に際して→家族会とぶれいすBe合同で実行委員会を設立 ・積立金の使途→当面は災害時のために積み立てて行く。 2. 「ひやりはっとに関する年次報告」（奥平ぶれいすBeリスクマネジメント委員会委員長） 3. グループホーム問題の現況と課題 ・平野貴久北摂杉の子会理事・地域生活支援部部長のお話 ・「グループホーム入居希望者の会」世話役の辰巳くみ子様のお話 ・「女性利用者のためのグループホームの会」世話役高橋香織様のお話 4. 下裕 幸 ぶれいすBe施設長 「AR毎に即した活動報告」保険会社の担当者より新しい商品についての説明

11月	行 事
1日	「障がいのある方の親兄弟が学ぶお金の話しパート2」（生活支援センターあんだんととの共催） 出席者：24家族（26名） プラスあんだんと職員 2名 講師は鹿野佐代子ファイナンスプランナー。「親亡きあとのライフプラン～親が元気なうちにやっておける手続きと金銭管理」というテーマに沿って、興味深いお話を頂き、そのあと質疑応答。活気のある先生のお話に皆様元気を頂く
2日	家族会会長会議（出席者：厚東）
8日	役員会（ぶれいすBe会議室） 出席者 10名（施設長を含む） ・「勉強会」（11月1日）の報告 ・平成29年度寄付金計算根拠の確認 ・10周年記念実行委員会の人選をする（家族会から、和田、林、清藤、田中、ぶれいすBeから奥平、刈谷の諸氏） ・下期の活動計画→「レジデンスなさはら2丁目」の見学

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

9月	行	事
3日	オアシス役員会	ミスタードーナツ十三駅前店
10日	オアシス・サロン	喫茶店にて開催 参加者 5名
14日	社団法人大阪自閉スペクトラム症協会主催・オアシス共催 勉強会「発達障害のある子への交通安全教育について」 講師 堀 清和 氏 (兵庫医科大学) 場所 ドーンセンター 中会議室 9名	
18日	ペアレントメンター打ち合わせ	(能勢町)
22日	センサリーフレンドリー映画「500ページの夢の束」	大阪なんばパークスシネマ 参加
24日	はぐくみ10周年事業に参加 本田先生の講演会	会長、役員 参加

10月	行	事
1日	オアシス役員会	ミスタードーナツ十三駅前店
6日	第5回北摂杉の子会セミナー 「自閉症児者の生活の質を保证する」	場所 大阪市立住まい情報センター3F 会長 参加
9日	一般公開座談会 谷岡とし子先生を囲んで テーマ「お困りごとについて」	場所 ドーンセンター中会議室 参加者 9名
13日	おやじの会 (大阪自閉スペクトラム症協会と合同開催) eショップ&カフェ谷町	参加者 7名
14日	午前 JDDnet 大阪懇親会 場所 ドーンセンター中会議室 会長・役員 参加 午後 JDDnet 近畿ブロック会議 場所 クレオ大阪中央会議室 会長・副会長 参加	
16日	ペアレント・メンター活動 役員 能勢町にて療育体験を発表しその後座会に参加	
27日	ハートカフェ at たによん 堀内桂先生の講演 「発達障害のグレーゾーン」～臨床の現場からその 概念を解き明かす～ 場所 NHK 大阪放送局 会長 参加	

10月	行	事
30日	オアシス保護者による実践報告会 「親子でがんばれること」～私の場合～ 報告者 オアシス保護者 スーパーバイザー 谷岡とし子先生 場所 ドーンセンター中会議室 参加者 11名 福田会長より自立支援調理実習の活動紹介 家庭における取り組みの実践報告をオアシス保護者 が行いました	
31日	ペアレント・メンターフォローアップ研修 場所 ドーンセンター大会議室 午前 教育・労働・福祉の行政機関より説明 小倉 正義 氏 (鳴門教育大学大学院) 望月 直人 氏 (大阪大学) の講義、グループ相談 の実技を学びました 会長・役員 参加 ホットメールなにわ会合 場所 クレオ大阪中央多目的室 副会長 参加	

11月	行	事
5日	オアシス・役員会	アーリーアーク405号室
16日	大阪府発達障がい団体ネットワーク会合 場所 ドーンセンター中会議室 会長・副会長 参加	
17日	いっしょにやりましょ! そよかぜまつり売り子体験 場所 大阪市西区民センター 体験者 2名 物品販売を通してお買い物される方とふれ合いました 『地域に生きる』冊子の配布にて啓発活動 発達臨床心理学研究所 公開講座 「発達障害の5年先・10年先のために今なにをす ればよいのだろうか?」 講師 山下 仰 氏 / 司会 新澤 伸子 氏 場所 武庫川女子大学総合心理科学館 役員 参加	
22日	ペアレント・メンター活動 場所 茨木市教育センター 小学校高学年の療育経験を話しました 役員 参加 (福田 記)	

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して
下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金
と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になります
ことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金 (注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、
寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチャど、おれいすBeの家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます

<近況報告>

9月 個人会員：394名、団体会員：24団体
合計：418名／団体 寄付：0件
10月 個人会員：395名、団体会員：24団体
合計：419名／団体 寄付：2件
11月 個人会員：398名、団体会員：24団体
合計：422名／団体 寄付：6件

(2018年11月末までの新規会員)

個人会員：8名、団体会員：なし

<報告事項>

- 1)今年度の2018年11月末までに19件、696,000円の寄付、682,000円の会費、合わせて1,378,000円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます
- 2)2018年12月5日(水)に臨時役員会を開催
 - ・2018年4月～2018年11月までの経過報告
 - 個人会員：398名、団体会員：24名、寄付：11件、資金：1,254,321円(会費納入率は個人：65%、団体：44%)
 - ・次回臨時役員会の開催予定
 - 2019年2月20日(水) 14：00～15：00
 - 場所：高槻現代劇場

(佐々木 記)

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(平成30年9月1日～平成30年11月30日)

先端輝子 小川敏夫 植松芳哲 脇田康夫 笠原隆之助 山口 博 棚山薫晴 成田憲彦 干場光一

□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(平成30年8月29日～平成30年11月15日)

永井昌明 岡村智子 金子 学 山里将夫 野口健司 田子森幸子 今中貴子 藤岡 宏 垣本寿也子 久常進治 池下貞子 坂井恵美子 中村淑子 澤田隆生 今井広文 今村一二三 今村暢也 井上誠子 久常和子 澤田良造 澤田幸子 丹藤優香 丹藤舞香 今村圭子 今村誠吾 今村美佐代 今村洋子 今村聡文 藤岡紀子 中村豪史 長谷川ひろみ 中村節史 中村悦子 中村哲史 田寺雅幸 田口和人 田寺文子 田口 敦 田口容子 前田直俊 大来恵子 伊藤 茂 中村英一 西口聖治 田中美代子 平田登代子 川田紀久夫 篤田晴子 藤田晴美 鈴木都美 永井利三郎 西坂徹雄 橋本紀子 平林弘子 松原茂樹 増田 博 長嶺真佐子 強田純子 倉本ことみ 新川 彰 入江誠司 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス 株式会社 二井清治建築研究所 キンキ寝具 株式会社 株式会社 いずみ商事 代表取締役 久保常和 社会福祉法人なみはや福祉会 中津保育園(園長 梅谷通代) 匿名希望2人

□ 後援会への寄付に感謝いたします。(平成30年9月1日～平成30年11月16日)

小川敏夫 中村英一 松岡洋市 笠原隆之助 宮本東雨 新川 淳 高槻カトリック教会 エムズエンジニアリング株式会社

□ 物品のご提供に感謝いたします。(平成30年9月1日～平成30年11月30日)

鶴谷久子 藤岡紀子 赤尾浩子 神田由美子 南野佐智子 木内一美 小川祥子 月岡 鈴木 田代 不二園芸 匿名希望1人

□ ボランティアに感謝いたします。(平成30年9月1日～平成30年11月30日)

坂井恵美子 佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男
発行所 北摂杉の子会
住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8
発行日 2019年1月10日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜 日中活動支援センターふれとなさはら** (生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす** (短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
- **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいすBe** (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて** (指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか** (発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **サポートセンターPASSO** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **こども発達支援センター will** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish** (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
[E-mail] yodo_branch@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきプランチ** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **法人自主製品店舗 よどのコロッケ**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL (06)6306-4096
営業時間：10:30～17:00(土・日・祝定休)
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」** 就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10:00～19:00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業